

第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 7 年 5 月 30 日	市所管部署	石巻市 河北総合支所地域振興課
-------	-----------------	-------	-----------------

2 法人名称等

法人名称	株式会社 かほく・上品の郷	設立目的・経過 道の駅「上品の郷」の維持管理及び運営の受諾を行うことを目的とする。平成17年3月旧河北町の指定管理者に指定。管理に関する協定書締結。平成18年4月石巻市の指定管理者に指定。管理に関する協定締結。
法人所在地	石巻市 小船越字二子北下1番地1	
設立年月日	平成 16 年 10 月 22 日	
代表者職・氏名	代表取締役 佐々木 正文	

3 定款上の事業内容

(1) 石巻市及び地方公共団体が設置する施設（道の駅）の維持管理及び運営の受諾業務
(2) 書籍・日用品・食料品・たばこ・酒類・農林水産物の販売事業
(3) 食堂施設の経営事業
(4) その他前各号に付帯する一切の業務
(5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外の 出資・出捐者	市以外の者の 出資・出捐額	市以外の者の 出資・出捐割合
50,450 千円	45,000 千円	89.2 %	個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	R4期末	R5期末	R6期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	7	6	6
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	2	2
計	8	7	7
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	3	3	3

(2) 職員の状況

	R4期末	R5期末	R6期末
常勤	12	14	14
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	30	30	29
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	42	44	43
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

・お客様に対するサービスを最大限に心がけ、経営の合理化を図り、地域に貢献できる企業として成長する。
・全国の皆様から愛され、親しまれ、また行ってみたいと思われる施設として、地域活性化に貢献する。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期
純売上高	千円	目標計画	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
		実績	959,527	1,058,834			
目標・指標の説明			法人売上高に法人以外の売上高（農産物直売所出品者の売上等）を加えた、道の駅全体の売上高である純売上高を指標とし、目標として年間10億円を設定。				
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期
		目標計画					
		実績					
目標・指標の説明							
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
「道の駅」管理運営	お客様からの要望が多かった駐車場の増設を図った。 また、地域の特産品を生かしたイベントを実施し、市内、県内、県外の道の駅やイベントへの出品、出店を行い、地域のPRや来客者増に努めた。	新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へ移行されたことから移動する人が増え、観光活性化へと進んでいる。物価高で厳しい情勢は続くものの「お客様第一の精神」を貫き運営を行っていきたい。	石巻のPRに努めるとともに、施設内の老朽化した設備の修理、店舗施設の修繕を行い、観光客はもちろん、地元の誘客を図った。
事業の公共性、公益性	地域住民の交流の場として、地元生産者が生産した農産物、海産物の販売の場としても地域経済の活性化に貢献しています。また、三陸自動車道の利用者の休憩場所、観光客の目的地、情報提供の場所として重要な場所になっています。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
事業の公共性、公益性			

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	株式会社 かほく・上品の郷
------	---------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表（B／S）	借方（科目）	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
	流動資産	173,879,949	174,308,213	428,264	166,551,156	▲ 7,757,057
	うち 現金・預金	150,450,027	147,457,753	▲ 2,992,274	135,817,691	▲ 11,640,062
	固定資産	13,926,247	16,803,022	2,876,775	22,914,565	6,111,543
	有形固定資産	7,549,686	9,723,254	2,173,568	14,833,406	5,110,152
	無形固定資産	401,600	401,600	0	901,600	500,000
	投資その他の資産	5,974,961	6,678,168	703,207	7,179,559	501,391
	資産の合計	187,806,196	191,111,235	3,305,039	189,465,721	▲ 1,645,514
	貸方（科目）	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
	流動負債	78,759,785	81,985,628	3,225,843	79,436,468	▲ 2,549,160
	うち 短期借入金			0		0
	固定負債	10,398,108	8,181,069	▲ 2,217,039	11,032,718	2,851,649
	うち 長期借入金	3,756,000	1,140,000	▲ 2,616,000	0	▲ 1,140,000
	負債合計	89,157,893	90,166,697	1,008,804	90,469,186	302,489
	純資産	98,648,303	100,944,538	2,296,235	98,996,535	▲ 1,948,003
	うち 資本金	50,450,000	50,450,000	0	50,450,000	0
	うち 資本剰余金			0		0
	うち 利益剰余金	48,698,303	50,994,538	2,296,235	49,096,535	▲ 1,898,003
	うち その他	▲ 500,000	▲ 500,000	0	▲ 550,000	▲ 50,000
	負債・純資産の部合計	187,806,196	191,111,235	3,305,039	189,465,721	▲ 1,645,514
損益計算書（P/L）	科目	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
	売上高	329,241,018	320,343,973	▲ 8,897,045	344,777,152	24,433,179
	売上原価	62,979,394	64,852,949	1,873,555	68,145,884	3,292,935
	売上利益	266,261,624	255,491,024	▲ 10,770,600	276,631,268	21,140,244
	販売費・一般管理費	268,923,050	259,262,130	▲ 9,660,920	278,826,274	19,564,144
	営業利益	▲ 2,661,426	▲ 3,771,106	▲ 1,109,680	▲ 2,195,006	1,576,100
	営業外収益	10,651,312	7,062,874	▲ 3,588,438	5,978,498	▲ 1,084,376
	営業外費用	275,536	1,385,987	1,110,451	1,473,294	87,307
	経常利益	7,714,350	1,905,781	▲ 5,808,569	2,310,198	404,417
	特別利益	0	3,600,000	3,600,000	0	▲ 3,600,000
	特別損失	3,600,000	3,021,094	▲ 578,906	3,995,300	974,206
	税引前当期純利益	4,114,350	2,484,687	▲ 1,629,663	▲ 1,685,102	▲ 4,169,789
	法人税等	188,199	188,452	253	212,901	24,449
	当期純利益	3,926,151	2,296,235	▲ 1,629,916	▲ 1,898,003	▲ 4,194,238

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

キャッシュフロー計算書（C/S）	区分	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
	営業活動によるキャッシュフロー	25,443,788	5,877,676	▲ 19,566,112	▲ 6,952,178	▲ 12,829,854
	税引前当期純利益	4,114,350	2,484,687	▲ 1,629,663	▲ 1,685,102	▲ 4,169,789
	引当金の増減額	14,050,499	▲ 2,189,423	▲ 16,239,922	▲ 2,200,268	▲ 10,845
	受取利息及び受取配当金	▲ 16,016	▲ 17,299	▲ 1,283	▲ 45,957	▲ 28,658
	営業活動に係る資産及び負債の増減	7,538,979	5,796,618	▲ 1,742,361	▲ 2,870,969	▲ 8,667,587
	利息及び配当金の受取額	16,016	17,299	1,283	45,957	28,658
	利息等の支払額	▲ 51,841	▲ 25,754	26,087	▲ 2,938	22,816
	法人税等の支払額	▲ 208,199	▲ 188,452	19,747	▲ 192,901	▲ 4,449
	投資活動によるキャッシュフロー	5,038,778	▲ 41,684,205	▲ 46,722,983	▲ 8,446,113	33,238,092
	有価証券の増減額	▲ 11,000	▲ 12,000	▲ 1,000	▲ 13,000	▲ 1,000
	有形固定資産等の増減額	0	▲ 5,527,950	▲ 5,527,950	▲ 7,957,256	▲ 2,429,306
	投資有価証券の増減額	5,049,778	▲ 35,430,255	▲ 40,480,033	▲ 400,857	35,029,398
	貸付金の増減額			0		0
	その他の固定資産等の増減額	0	▲ 714,000	▲ 714,000	▲ 75,000	639,000
				0		0
				0		0
	財務活動によるキャッシュフロー	▲ 2,616,000	▲ 2,616,000	0	▲ 1,190,000	1,426,000
	短期借入金の増減額			0		0
	ファイナンス・リース債権等の増減額			0		0
	長期借入金の増減額	▲ 2,616,000	▲ 2,616,000	0	▲ 1,140,000	1,476,000
	資本金等の増減額			0		0
	配当金の支払額			0		0
	その他固定資産等の増減額	0	0	0	▲ 50,000	▲ 50,000
				0		0
	現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
	現金及び現金同等物の増減額	27,866,566	▲ 38,422,529	▲ 66,289,095	▲ 16,588,291	21,834,238
	現金及び現金同等物期首残高	107,560,289	135,426,855	27,866,566	97,004,326	▲ 38,422,529
	現金及び現金同等物期末残高	135,426,855	97,004,326	▲ 38,422,529	80,416,035	▲ 16,588,291

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	1,000,000	0	▲ 1,000,000	0	0
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）	1,000,000	0	▲ 1,000,000	0	0
委託料及び指定管理料	16,000,000	16,000,000	0	12,000,000	▲ 4,000,000
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
短期借入金			0		0
長期借入金			0		0
出資・出捐（期末時）	45,000,000	45,000,000	0	45,000,000	0
債務保証額（期末残高）			0		0
損失補償額（期末残高）			0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）			0		0
			0		0
			0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社 かほく・上品の郷

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

流動資産の7, 757千円の減少は、経年劣化による設備の入れ替えを行った為で、その為固定資産が6, 111千円増額となっております。

流動負債の2, 549千円の減少は昨年3月は、本年と比べて電気料が高かった事及び経年劣化に伴う施設設備の入れ替えを昨年3月に行っており、本年より3月末時点の未払費用(4月、5月支払予定額)の残高額が多く残っていたためです。

「自己資本比率」は52.2%です。(当期52.2%、前期52.8%、前々期52.5%)

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目	変動内容(単位：円)	変動要因
流動資産 現金・預金	11,640,062減	キャッシュレス決済利用者が増えたことによる未収入金の増、棚卸資産の増、未払い費用の支払いによる減
固定資産 有形固定資産	5,110,152増	電力メーターの取付、洗濯乾燥機、アウトテナントエアコンのリース費用による増
流動負債	2,549,160減	昨年3月の施設修理費用の未払費用が多かったことによる減

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

令和5年度の直売所と温泉保養施設利用者数の合計626,953人に対し、令和6年度は641,648人で14,695人の増となり、売上高も前年度より24,433千円の増額となりました。

老朽化した設備の修繕、電力費の高騰による光熱費の増加の影響がとても大きく影響しており、よりいっそう経費の削減などの努力が必要となります。

また、売上の増加に伴いキャッシュレス決済を利用するお客様が増加しています。それに伴う支払手数料の費用も増加しています。

最終的な純利益は、-1,898千円となりましたが、令和7年度は売上高を伸ばしながら引き続き経費削減などに努めてまいります。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目	変動内容(単位：円)	変動要因
売上高	24,433,179増	利用者数の増加
販売費・一般管理費	19,564,144増	電力費の高騰、支払手数料の増加
営業外収益	1,084,376減	イベント出店業者の市内の一部が直売所内の委託販売取引に変更したことにより、営業外収益ではなく、営業内収益となったため。

情報公開シートⅡ補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

今期は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へ移行されたことから移動する人が増え、観光・経済活動も活発となり道の駅を取りまく環境にも好影響を与え、観光活性化へと進んでいる。

支出面においては、電力費抑制のため施設照明のLED化を図り、こまめな施設内の消灯や室温管理、温泉の温水管理等を行い、徹底した経費節減に努めたが、電力費の大幅な値上がりにより、予定以上に経費がかさみ苦戦を強いられることになったが、最終的な経常損益は2,310千円の利益となった。

今後も事業を行っていく上で資金繰りも含め、売上及び利益をいかに確保していくか、留意する必要があります。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項 目		変動内容(単位：円)	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	営業活動に係る資産及び負債の増減	8,667,587減	リース資産の増、キャッシュレス決済の取り扱い額の増による減
投資活動によるキャッシュフロー	投資有価証券の増減額	35,029,398増	昨年度普通預金から定期預金へ資金移動を行った事による増

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
道の駅「上品の郷」指定管理業務	12,000,000	指定管理業務

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：株式会社 かほく・上品の郷

担当部署名：河北総合支所 地域振興課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

例年、道の駅では中期的な経営目標・事業計画の目標計画として、純売上高1,000,000千円としておりますが、今年度は1,058,834千円で目標額を達成することができ、令和5年度に比べ99,307千円の増となっております。

今後も引き続き、様々な形で利用客を呼び込めるような魅力的な対策を講じ、地域の活性化に貢献することを期待します。

（2）主要事業の成果、課題

お客様からの要望が多かった駐車場の増設を行った事により、利用者の利便性が向上され来客数及び売上の増加に繋がっているものと考えます。

これまで以上の利益増を目標とし、引き続き経営のスリム化と経費の削減を図りながら運営をすることを期待します。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（1）貸借対照表

会社の財務面の安全性を表す経営指標の一つである「自己資本比率」が52.2%であり、良好な状況です。

また、法人等の短期的な支払能力を示す「流動比率」が209.6%、固定資産をどの程度自己資本で賄っているかを示す「固定比率」が23.1%であることから、併せて良好な状況です。

引き続き、健全な財政運営のため効果的・効率的な運営及び事業実施に努めていただきます。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

法人等の事業による収益性を示す「営業利益率」が-0.6%、資産からどれだけの利益を生み出したかを示す「総資産経常利益率」が1.2%、資産がどの程度売上を生み出しているかを示す「総資産回転率」が1.8回となっており、特に「営業利益率」がマイナスとなっているが、修繕、備品買換え及び駐車場の整備を行ったため、一時的なものと思料するが、引き続き、健全な財政運営のため効果的・効率的な運営及び事業実施に努めていただきたい。

(3) キャッシュフロー計算書

営業活動、投資活動、財務活動すべてのキャッシュフローにおいてマイナスとなっており、その要因として営業活動では、委託販売から仕入販売に変更を行ったものがあることによる棚卸高が発生したこと、また、固定資産増による減価償却費の増加、投資活動では、設備投資及びリース資産の増、財務活動においては、借入金の返済が終了し、現行借入を行う必要がないとのことで、期末時点の現金残高が豊富にあること、残高額を確認しながら投資（修繕）を行うとのことから、次期に改善が見込めるものを思料するが、引き続き、経営改善に向けた効率的な運営に努めていただきたい。

(4) 市による財政・金融支援等

指定管理料として12,000千円を支出しましたが、経営改善に向けた効率的な経営に努めていただきたい。

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

国際的な原材料価格や原油価格の高騰の影響等により、今後も厳しい状況が続くことが見込まれますが、道路利用者や地域住民等の交流の拠点として、利用しやすくより一層親しまれるよう、サービスの向上及び運営の効率化に努めていくことを期待します。